



千葉労働動員

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)

電話(鉄電) 千葉 2935・2936番
(公) 43(222) 7207番

96716 No. 4432

正念場を迎え国鉄闘争勝利へ

決意と団結うち固める



七月十四日、お茶の水「全通
会館ホール」において、「正念
場をむかえた国鉄闘争の勝利を
めざす七・一四労働者集会」が
動労千葉の呼びかけで、六五〇
名以上の結集を勝ち取り、大盛
況のうちに開催された。

集会は、動労連帯高崎・和田
山委員長の司会で進められ、動
労千葉・布施副委員長の開会の
あいさつで始められた。

まず、全金本山労働組合をは
じめとした二つの労働組合、動
労千葉弁護団より一瀬、鈴木両
弁護士、中江船橋市議の力強い
連帯のあいさつをうけた。

7.14
労働者集会

650名結集の 熱気あなか 「戦闘宣言」発す

つづいて、中野委員長から、
国鉄闘争勝利に向けた基調報
告(要旨別掲)が行なわれ、分
割・民営化一〇年目を迎えた国
鉄闘争の持つ重要性和今後の課
題を明らかにした。

熱気溢れる
決意表明

カンパアピールのあと、四つ
の国労闘争団のあいさつとメッ
セージが紹介された、動労千葉
争議団・高石君からも「本場の
労働運動を最後まで貫く」とい
う特別アピールが行なわれた。

全国の国労の仲間四名、動労
水戸・辻川委員長、国鉄闘争支
援協から、「JR総連革マルと
の闘いを全力で戦い抜き、国鉄
決戦に勝利する」と力強い決意
表明をうけ、田中書記長の「正
念場をむかえた国鉄決戦に勝利
するため今日を基点に新たな闘
いに突き進もう」という閉会の
あいさつのあと、関青年部長の
力強い団結ガンパローで大成功
のうちに集会を終了した。

正念場を迎えた国鉄闘争勝利
へ、動労千葉・国労の解体を叫
ぶJR総連革マルを解体・一掃
しよう。

JR体制の弱環 —JR総連革マル解体の 鍵が熱い拍手!

十年前の国鉄分割・民営化と
の闘いは、日本労働運動の命運
がかかった闘いだだった。

とくに、動労革マルが先兵と
なり、国労・動労千葉に襲いか
かり、激しい国鉄労働運動破壊
攻撃が行われた。しかし、十年
におよぶ清算事業団労働者一〇
四七名の闘い—国労三万の存
在、動労千葉・動労総連合の闘
いが「分割民営化体制」の破産
を強制し、そして、十年目に再
び闘いの時がきた。

「分割・民営化体制」の破産
の中で、労務政策の破綻が最大
の弱点—矛盾点が、JR総連革
マル問題として噴出してきてい
る。

「平成九年度」問題の焦点化
とともに決着がつかず先送りさ
れた国鉄—JRをめぐる階級決
戦が再び火を噴きはじめた。

国鉄労働運動が、なぜ階級決
戦なのか。それは、唯一全国闘
争として国鉄闘争が存在してい
るということであり、しかも、
連合内外で数百万の労働者の熱
い支援にささえられている。



7.21地引き綱
午前9時ヨリ
九十九里、一松海岸
海の家「あいの」
Ouu Ouu ワイヤろう

階級意識の根絶と階級的団結
形態の解体攻撃に負けて、差別
・排外主義にからめとられ侵略
戦争の先兵になるのが最大の
問題だ。敵の最大の狙いもこ
こにある。

攻防の焦点は、動労千葉・動
労総連合+国労+国鉄闘争支援
勢力VS権力+JR+JR総連
革マル、ここにある。

正念場をむかえた国鉄闘争に
全労働者を結集させ、怒りも新
たに九六〜九七年の闘いへ突入
しよう!